

※対面形式のみにより開催します。

- ・今回から従来の対面形式に戻します。
- ・定員は対面 100 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。1 社あたりの申込人数に制限はございませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合がございます。個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員の方からのお申込みをお断りすることがございます。
- ・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会 継続教育 (CPD) に関する参加証明書を交付いたします。なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。
- ・不測の事態においては中止となることがありますのでご了承ください。

令和 5 年 5 月 8 日

各 位

軟弱地盤研究会 (第 185 回) のご案内 (対面形式のみ)

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時 : 令和 5 年 5 月 3 1 日 (水) 1 4 時 ~ 1 6 時 (1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし)

場 所 : 建設業協会佐賀 2F 会議室
(〒849-0918 佐賀市兵庫南二丁目 13 番 5 号 TEL 0952-24-2711)

話 題 : 法面や河川における崩壊等箇所の地質上の特徴と地盤災害発生機構に関する考察

講演者 : 第一復建株式会社 技術本部 技術本部長 森山 秀馬 氏
技術本部 マネージャー 吉村 辰朗 氏

概 要 : 講師から下記の概要をいただきました。

近年、豪雨等による法面崩壊 (斜面崩壊) や河川堤防崩壊が発生し、その社会的損失は計り知れない。γ線探査で崩壊箇所を調査し、類似の条件においてなぜそこが崩壊したのかに着目した結果、地質構造 (断裂構造) が影響していることを確認した。また、崩壊地の断裂分布を調べると、不連続面 (地層境界、断裂等) が交差する地点付近で発生している。その原因としては、「不連続面の交差場」で発生する「地下水流動」と考えられる。

今回は、様々な地盤災害の事象を基に、不連続面に沿う地下水流動に起因する地盤災害発生機構について考察した。

※参加希望の方は 5/24 (水) ・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費 : 当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

※参加証明書が必要な方は申し込みの際にその旨をご連絡ください

=====

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容 (Kirekawa Toshihiro)

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603

(公財) 佐賀県建設技術支援機構内

=====